

## 令和3年5月末景気動向調査結果

現在の中小製造業を取り巻く経営環境は、度重なる緊急事態宣言等の発出による消費の低迷や半導体不足による自動車の生産落ち込み、燃料価格の上昇によるコスト高、鋼材の不足など、国内経済の先行き不透明感が強くなってきています。

このような状況下での県内中小製造業の経営現状と今後の経営動向を把握し、当協会事業を企画・推進する上での参考とすることを目的に、2021年5月末を基準日としてアンケートによる調査を実施した。

調査対象企業39社に、調査票を送付したところ28社から回答（回答率71.8%）があった。この調査結果を次に示す。

### 1 景況

#### (1) 現在の売上状況

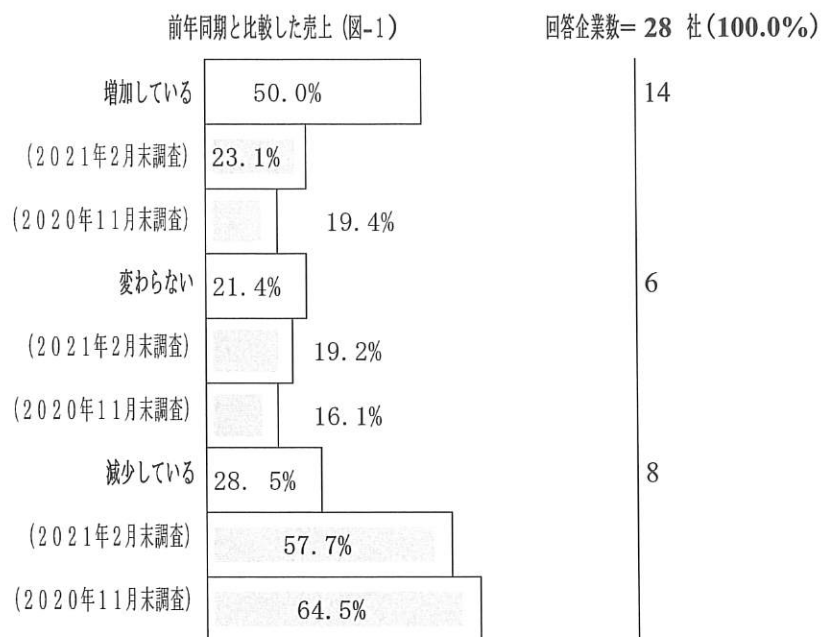
2021年3月～5月の3ヶ月間の売上高と前年同期との売上高を比較した状況を図-1に示す。

「売上が増加」と回答した企業は全体の50.0%を占めており前回調査（2月末調査）に比べ26.9ポイント増加していた。一方、「売上が減少」と回答した企業は全体の28.5%を占めており前回調査（2月末調査）に比べ29.2ポイント減少していた。

2020年11月末調査・2021年2月末調査結果と比較する、「売上が増加している」と回答した企業の割合は、2020年11月末の19.4%から2021年2月末には23.1%、今回調査では50.0%と、2020年11月末調査に比べて30.6ポイントの増と、直近6ヶ月間で3割の増加となっている。

一方、「売上が減少している」と回答した企業の割合は、2020年11月末の64.5%から2021年2月末には57.7%、今回調査では28.5%と、2020年11月末調査に比べて36ポイント減少している。

このように、受注環境の状況は改善傾向となっている様子が伺えるが、原油高や鉄骨材料などの原材料高騰など、中小製造業を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況であり、今後とも注意を要するところである。



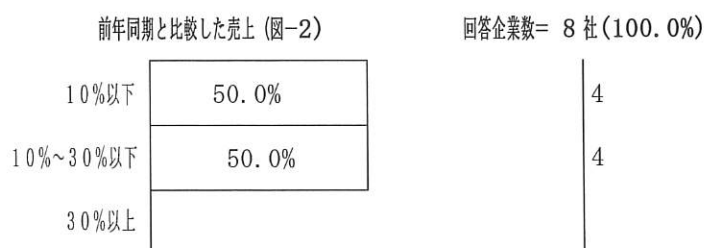
\* 上段は今回調査結果、中段は 2021 年 2 月末調査結果、下段は 2020 年 11 月末調査結果

## (2) 売上高の減少割合

2021 年 3 月～5 月の 3 ケ月間の売上高が前年同期に比べ「減少した」と回答した企業 8 社に、売上高の減少割合を聞いた結果を図-2 に示す。

売上が「10%以下程度の減少」と回答した企業は全体の 50%を、「10～30%減少した」と回答した企業は 50%を占めていた。

売上が 30%以上減少した企業はなく、全体的に受注環境の改善がみられた。



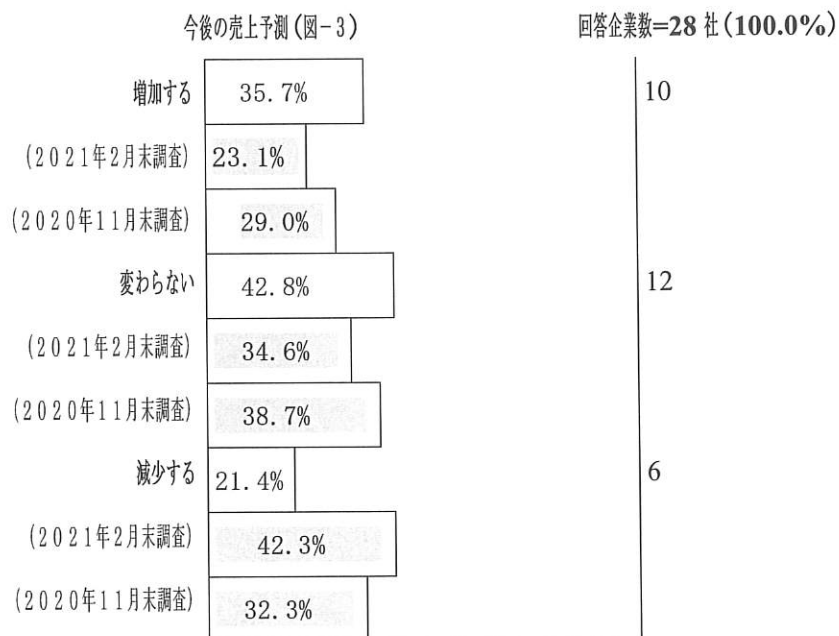
## (3) 今後の売上予測

今後の売上をどのように予測しているかを図-3 に示す。

今後、「売上が増加する」と予測している企業は全体の 35.7%を占めており、前回調査 (2021 年 2 月) に比べて 12.6 ポイント増加していた。「売上は変わらない」と予測している企業は、全体の 42.8%と前回調査に比べ 8.2 ポイントの増加であった。

一方、「売上が減少」と予測している企業は、前回調査に比べ 20.9 ポイント減少し、全体の 21.4%を占めていた。

受注環境については、約 8 割の企業で現状並み・改善すると予測している状況であった。

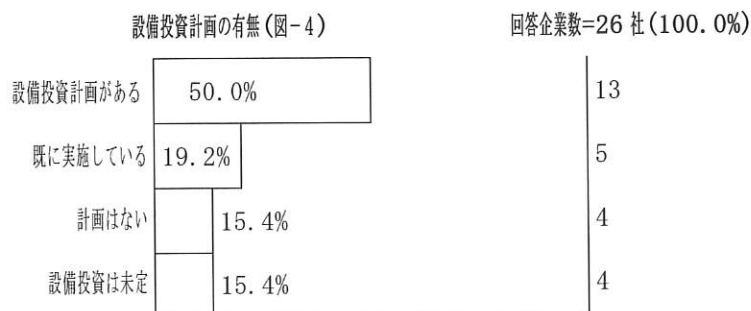


\* 上段は今回調査結果、中段は 2021 年 2 月末調査結果、下段は 2020 年 11 月末調査結果

## 2 設備投資計画

2021 年 4 月～2022 年 3 月の 1 年間での設備投資計画（生産関連設備）の有無を図-4 に示す。

設備投資の実施を計画している企業が全体の 50.0%を、既に実施している企業が全体の 19.2%を占めていた。このように、全体の約 7 割の企業で、今年度に生産関連の設備投資を実施する計画を有していた。



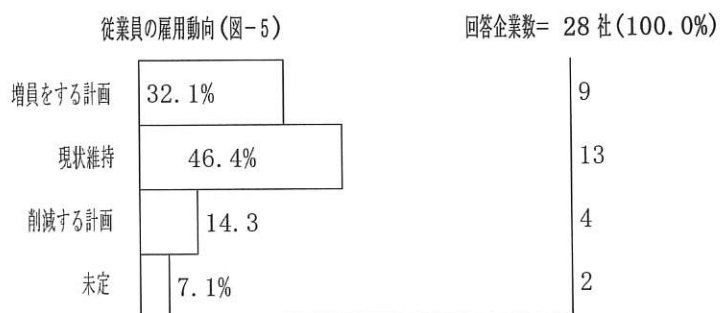
### 3 従業員雇用の動向

2021年の従業員の雇用動向を図-5に示す。

従業員の増員を計画している企業は全体の32.1%を占めており、前回調査（2021年3月末）に比べ2.5ポイントの減となっている。一方、従業員の削減を計画している企業は全体の14.3%を占めており、前回調査に比べ2.8ポイント増加している。

また、現状を維持すると回答した企業は全体の46.4%を占めており、前回調査に比べ7.9ポイントの増加であった。

全体的には、現状・現状以上の雇用を確保していこうという姿勢が見られる。

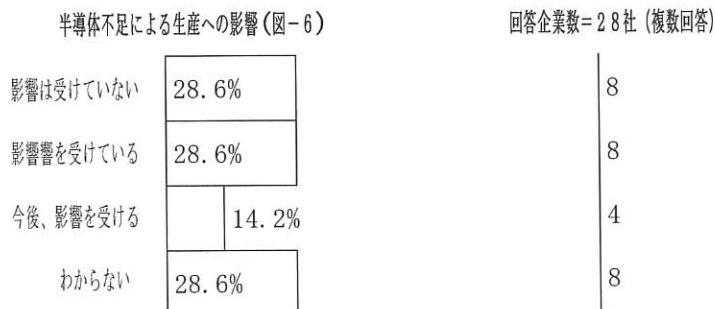


### 4 半導体不足による生産への影響

世界的な半導体不足により生産活動への直接・間接的影響の有無を図-6に示す。

「影響を受けている」、「影響を受けていない」と回答した企業は同数で、それぞれ全体の28.6%を占めていた。

「今後、影響を受ける」と回答した企業は14.2%を占めており、「影響を受けている」と回答した企業を合わせると、全体の42.8%と過半数近い企業で、何らかの影響を危惧している状況が伺われ、今後とも半導体の供給状況に留意することが必要である。

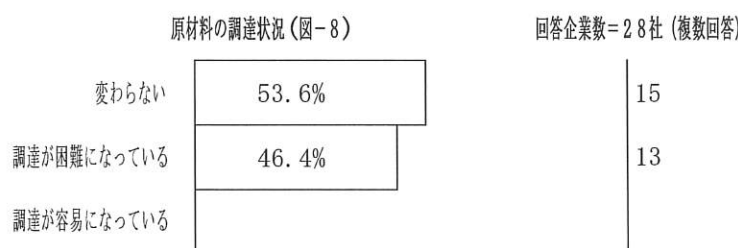
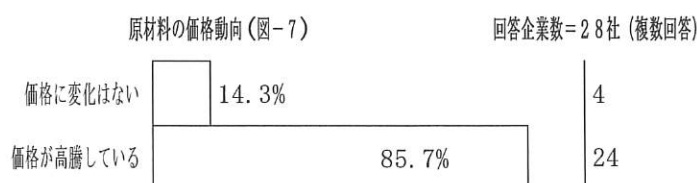


## 5 原材料の調達状況

原材料の価格動向を図-7に、原材料の調達状況を図-8に示す。

「原材料の価格が高騰している」と回答した企業は全体の85.7%と大多数を占めていた。また、全体の46.4%と過半数近くの企業が原材料の調達困難と回答していた。

このように、半導体不足による生産への影響とともに、原油価格の上昇によるエネルギーコストの高騰や鋼材価格の高騰など、原材料の調達コストが経営課題となっており、今への影響が懸念される



## 6 県等への要望・提案

要望・意見・提案等については、原文のままに記載した。

新型コロナ対策のワクチン接種の加速、原材料等の調達・価格への意見が述べられていた。

CO2削減対応については、2030年のエネルギーミックス実現、2050年のカーボンニュートラル実現に向け、国が様々な省エネ設備投資の促進に向けた施策を行っている。省エネ投資を検討している方は、是非「環境共創イニシアチブ(SII)」のホームページを参照して頂きたい。

### 【要望・意見等】

- ①今迄は土の時代だったという、上をめざしていく。これからは風の時代だという。脱大量消費社会へ進む。自らの利権を望むより、皆で発展していく社会へ進むといわれる。これからの社会はどうなり、どんな準備をしておくことなのか知りたい。
- ②ワクチン接種を全速力で実施し、早期の経済回復に力を注いで頂きたい。
- ③とにかく、ワクチン接種加速させて頂きたい。今後、海外出張の際にも不可欠なものに

なると思う。

- ④部品不足は国内拠点よりも海外拠点で顕著であり、今は深刻な状況を招きかねない。ひいては、国内経営にも大きく影響を及ぼすことが予想される。
- ⑤感染症による工場内のクラスター等を見られる様だが、仮にそうなった場合の損失利益補償支援等も期待したい。
- ⑥鉄の調達、値上げが続いている。鉄鋼メーカーを合併させて競争力を低下させた国の責任。他の素材や国外へ流出させてしまった半導体等も同様。素材の安定供給策を早急に進めて欲しい。
- ⑦CO<sub>2</sub>低減に対する補助の拡充。